

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車による アライアンス	日産のサステナビリティ

## CSOメッセージ

サステナビリティは、日産がイノベーションを推進するうえで、重要な役割を果たしています。当社はサステナビリティを推進することで、人々や地球環境、社会に与える負荷を軽減し、事業を成長させ、すべてのステークホルダーに長期的な価値を提供することにつなげています。

チーフ サステナビリティ オフィサーとしての私の責務は、日産の戦略、事業にサステナビリティの観点を織り込んでいくことです。サステナビリティに取り組むのは、法規制に対応するためだけではなく、サステナビリティこそが、日産の事業基盤やレジリエンス(リスクに対抗できる力)を支え、企業価値を向上させるからです。

当社のサステナビリティ戦略である「Nissan Sustainability 2022」は、「環境」「社会性」「ガバナンス」を重点分野とし、持続可能な社会の実現に向けた活動の指針を定めています。環境の分野では、中期環境行動計画「ニッサン・グリーンプログラム (NGP) 2022」と2050年に向けた長期的な目標に基づいて、活動を推進しています。



日産自動車株式会社  
専務執行役員  
チーフ サステナビリティ オフィサー(CSO)

田川 丈二

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車によるアライアンス	日産のサステナビリティ

本サステナビリティレポートでは、こうした活動の詳細に加え、2021年11月に発表した長期ビジョン「Nissan Ambition 2030」についても触れています。この長期ビジョンで、日産が環境問題や社会課題にどう対応し、企業としてどのような責務を果たしていくのか、そして人々や社会、地球のためにいかに価値を創造していくかということを示しています。

中でも重要となる取り組みが、カーボンフットプリントの低減と化石燃料への依存の軽減です。当社はサプライヤーを含め、原材料の調達、輸送、そして車両の走行を含むバリューチェーン全体で、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。日本国内の自動車メーカーとして初めて、国連が支援するRace to Zero(レース・トゥ・ゼロ)キャンペーンにも参画し、電動化とカーボンニュートラルの実現に向けた活動を加速させています。

昨年は2030年に向けた当社のCO<sub>2</sub>削減目標がSBTイニシアチブ(SBTi)の認証を取得し、電動化とカーボンニュートラルを目指す活動にさらに弾みがつきました。さらに、英国でバッテリーのギガファクトリーを含む電気自動車生産ハブ「EV36Zero」へ10億ポンドの投資を行うなど、幅広いステークホルダーと協業しながら、カーボンフットプリント削減のための数々の取り組みをこの一年で発表してきました。

日産は電気自動車を戦略の中心に据えています。他にもバッテリーのエコサイクルを実現するサーキュラーエコノミーの推進や生産工場におけるカーボンフットプリントの削減など、さまざまな重要な活動を進めています。また、バッテリーの二次利用とリサイクルを行う事業も推進しています。当社の合併会社であるフォーアールエナジー株式会社は、電気自動車の使用済みバッテリーを電気自動車の交換用電池として再製品化する世界で初めての工場を福島県浪江町で運営しています。電気自動車の生産拡大に伴い、今後は米国と欧州にも事業を展開していく予定です。

このように当社は、カーボンニュートラルの実現に向けて数多くの取り組みを進めていますが、日産とサプライチェーン全体において人権の尊重、保護を徹底しなければ、この目標を達成することはできません。バリューチェーン全体で人権を尊重することは、当社のコーポレートパーパスと「Nissan Ambition 2030」を実現するうえでの大前提です。今後も事業運営における人権尊重と、バリューチェーン全体において求められるデューデリジエンスについて検討を重ねていきます。

日産は、水資源や天然資源の保全にも積極的に取り組んでいます。国連は2050年までに少なくとも世界の4人に1人が、慢性的または反復的な水不足の影響を受けると予測しています。他のセクターに比べ、自動車メーカーの水リスクが特に高いという指摘はないものの、法規制を上回るウォーターセキュリティ(責任ある水資源管理)と、水使用量削減戦略を実行することで、リスクの軽減

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車による アライアンス	日産のサステナビリティ

に努めています。水不足に陥るリスクの高い事業所については、貯水池を設置し、雨水の利用を促進するなどの対策を推進しています。こうしたさまざまな取り組みにより、日産はCDPの「ウォーターセキュリティ」部門において、最高評価である「Aリスト」企業に認定されました。(2019年に続き2回目)

今後もグローバルでサステナビリティ戦略を強化し、ジャストランジション(公正な移行)を具現化しながら活動を推進していきます。そのために、社内の会議体である「グローバル環境戦略委員会」や「グローバル サステナビリティ ステアリング コミッティ」の開催頻度を高め、活動の進捗やポリシーの作成、将来の取り組みに関して、より深い議論と検討を行っていく予定です。

これからも日産は、従業員や投資家の皆さま、お客さまに対して、透明性をもってサステナビリティの活動内容をお伝えしていきます。そして、活動をより一層推進していくため、重要なステークホルダーとの関係の構築、強化を図ります。カーボンニュートラルの実現に向けては、各国政府や地方自治体、日本自動車工業会をはじめとする業界団体とも協力し、ステークホルダーとともに持続可能な社会のための新たな枠組み作りにも貢献していきます。

2021年度、当社は大きな進歩を遂げました。しかし、まだまだやるべきことがあります。日産を成長させていくのは責任ある経営であり、長期的な価値を創造するのは、イノベーションとサステナビリティの融合です。「Nissan Ambition 2030」で示したレジリエントな戦略は、この考え方に基づいています。日産は長期ビジョンの実現を目指し、サステナビリティの取り組みをより一層加速させていきます。

